令和8年度
創業支援事業アンケート調査

令和8年6月

鶴岡市商工観光部商工課

はじめに

1　目的

補助金の効果検証及び今後の創業支援施策の検討を目的に実施するもの。

2　調査対象者

令和3年度から令和7年度までに、新規創業促進助成金、新規創業支援等補助金の交付を受けた者　**144**　者

3　調査方法

Google formによるオンラインアンケート

4　調査期間

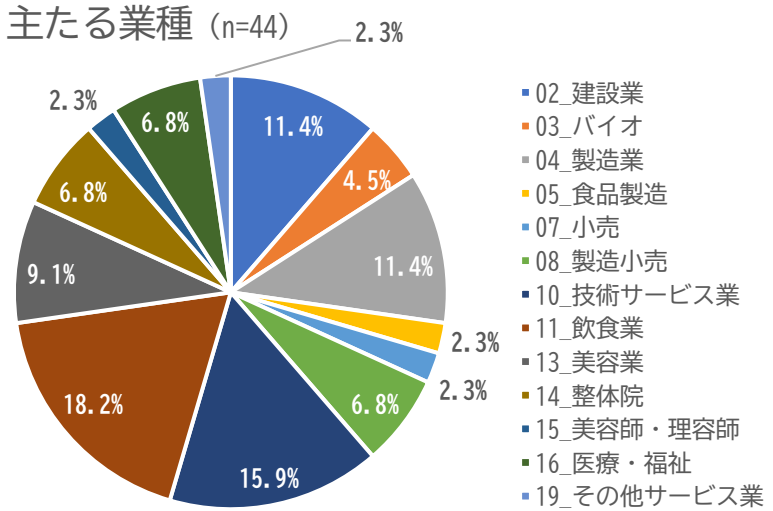
令和8年3月30日～4月15日

5　回答者数、回答率

回答者数　**44者**　、　回答率　**30.6%**

（法人8者、個人36者からの回答）

※回答者の業種は右の円グラフのとおり



「食品製造」は惣菜店、菓子店など

「美容業」にはエステティック、リラクゼーション業など

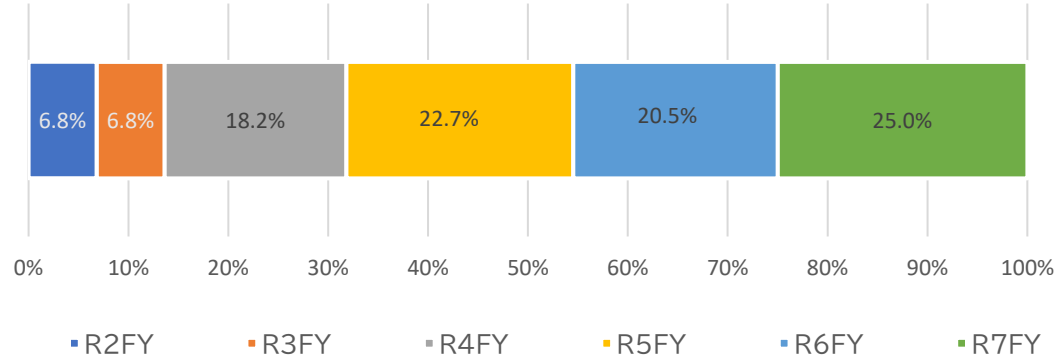
創業年度、性別、創業時の年代、販売先・顧客について

〇代表者の年代は40代が半数を占め、次点が30代となっており、社会人・業務経験等を経てからの新規創業が多いものと推察される。

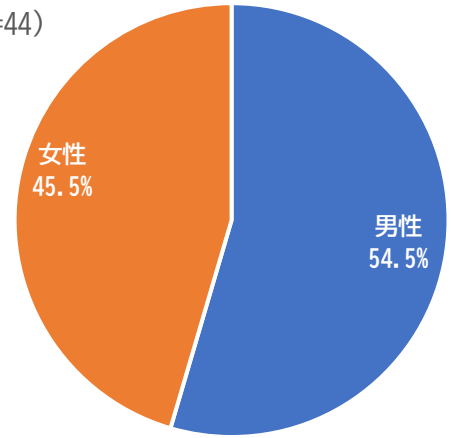
〇性別については男女差がほとんどなかった。

〇販売先・顧客は、70.5%がBtoCとなっている。

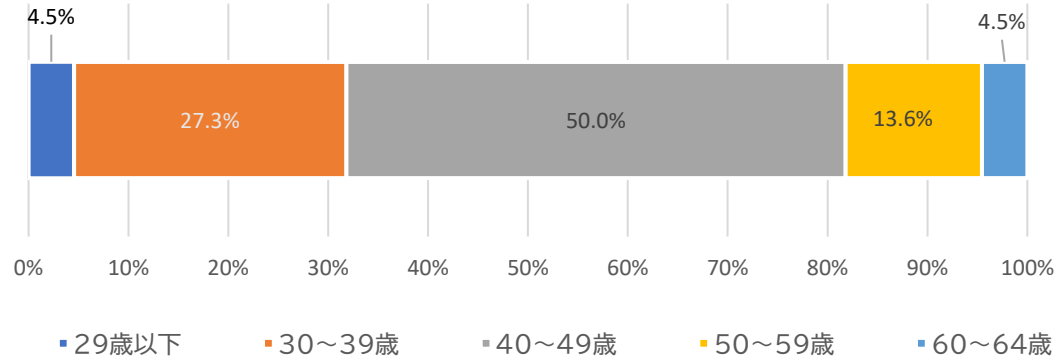
創業年度（n=44）



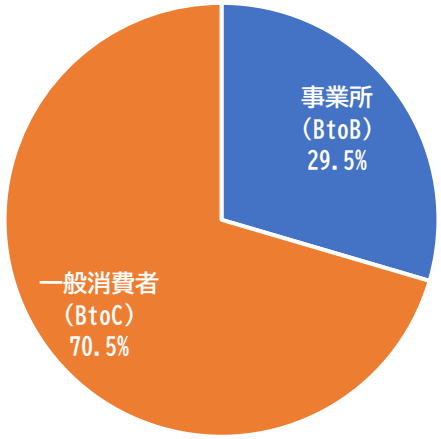
性別（n=44）



創業時点の代表者の年代（n=44）



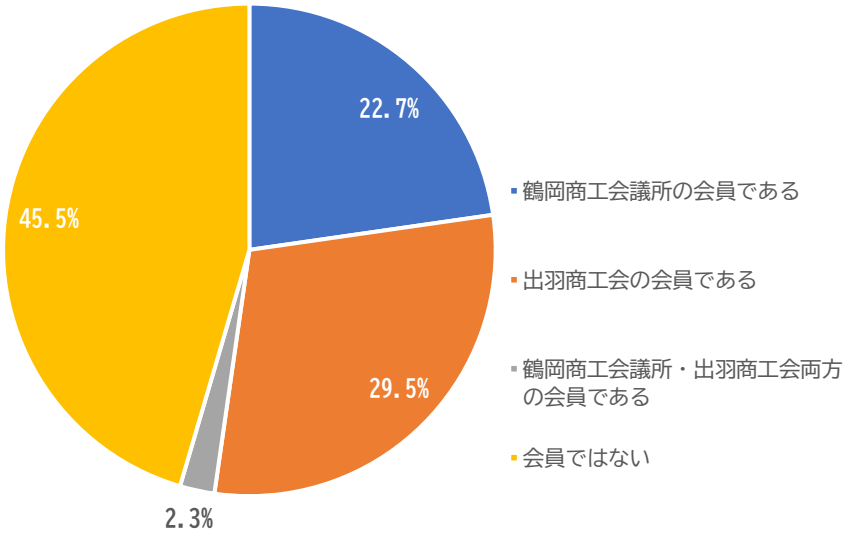
主な販売先・顧客（n=44）



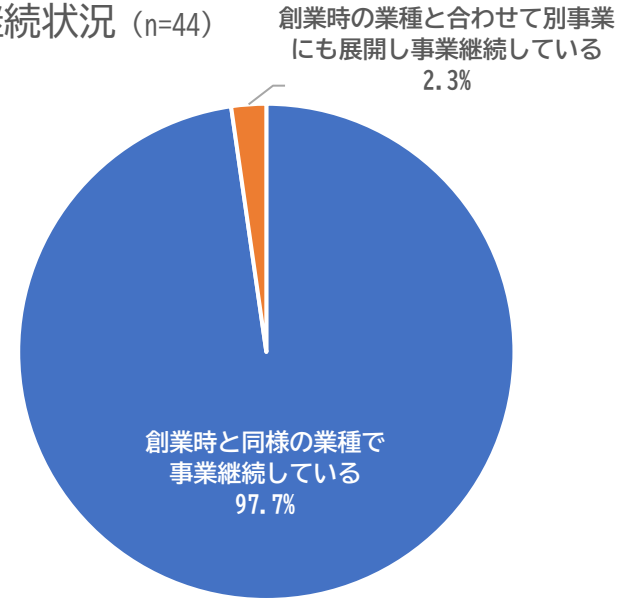
商工団体の会員状況、事業の継続状況について

〇50%以上の事業者が商工団体(鶴岡商工会議所、出羽商工会又は両方の商工団体)に加入している。
〇事業の継続状況については同業種での継続が97.7%。他業種の展開も2.3%確認できた。

商工団体の会員加入状況（n=44）



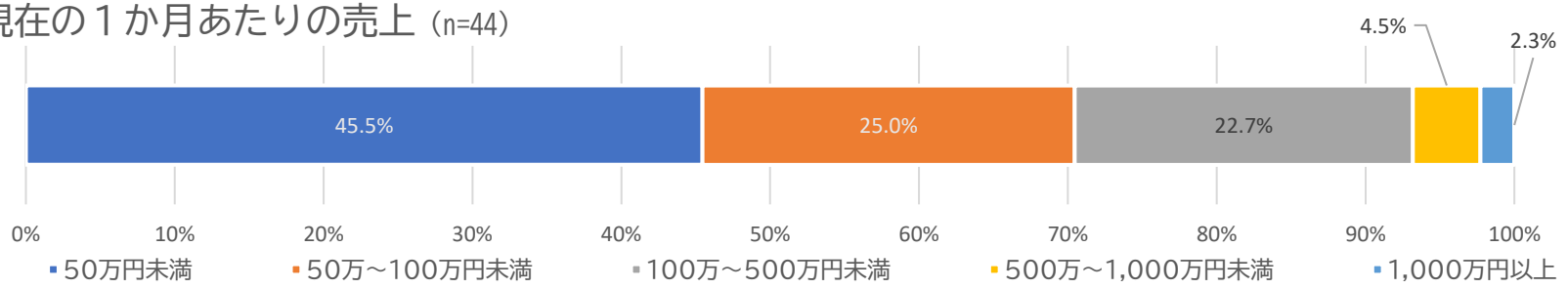
事業の継続状況（n=44）



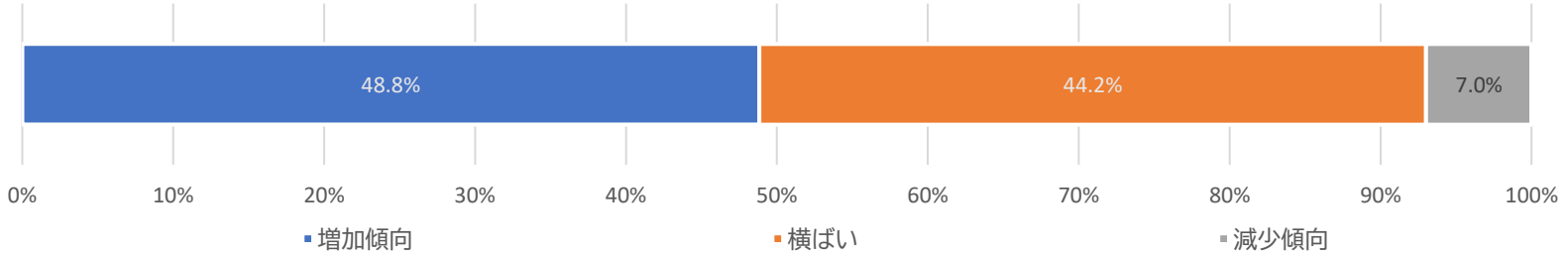
売上、採算状況、業況について①

〇月間売上については45.5%が50万円未満である一方、500万円超の売上の事業者は6.8%いることがわかった。
〇売上状況は増加傾向、横ばいで9割以上を占めている。
〇採算状況は61.4%が黒字基調である。

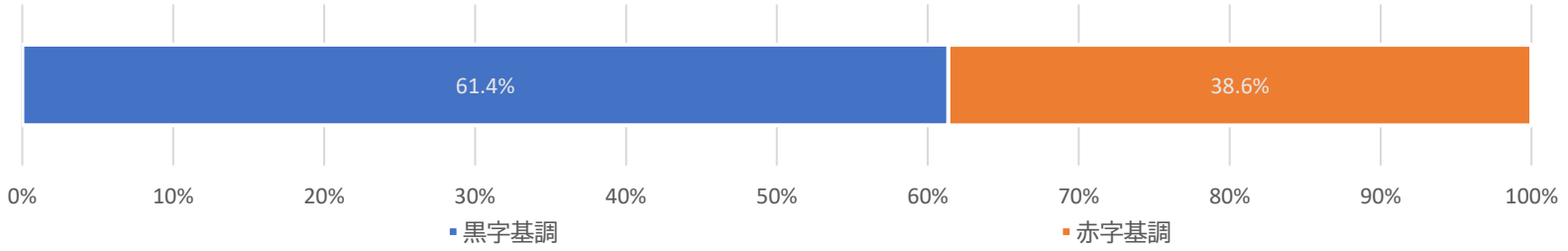
現在の１か月あたりの売上（n=44）



売上状況（n=43）



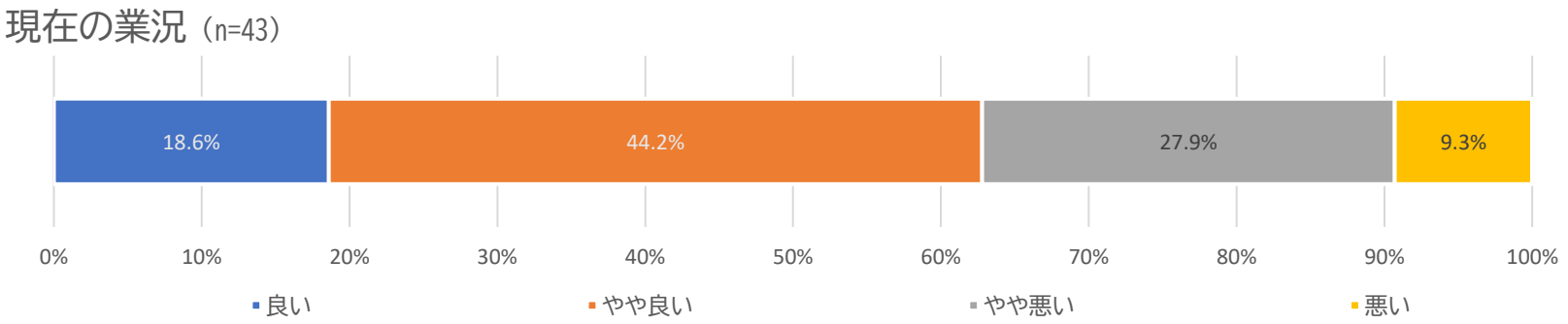
現在の採算状況（n=44）

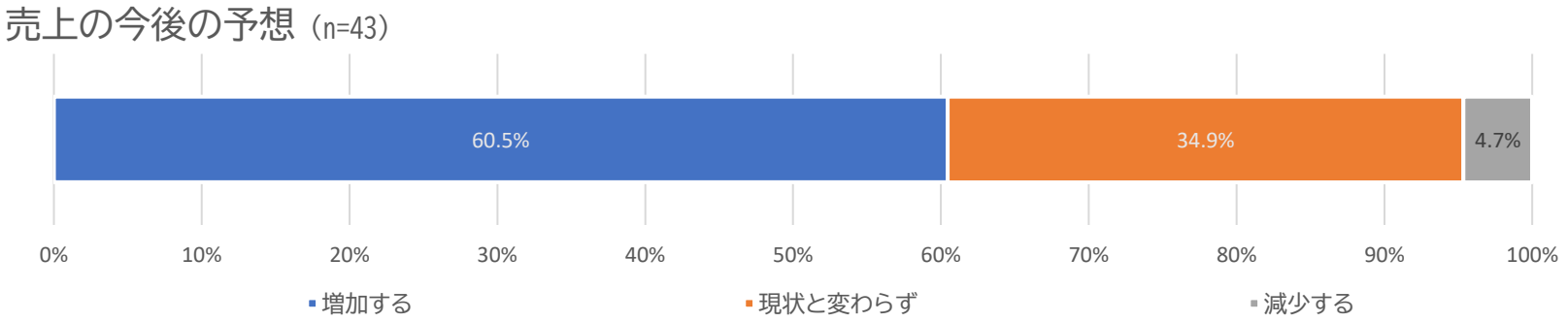


売上、採算状況、業況について②

〇現在の業況について、「良い」、「やや良い」と回答した事業者は62.8%だった。

〇売上の今後の予想は、「増加する」と回答した事業者は60.5%だった。

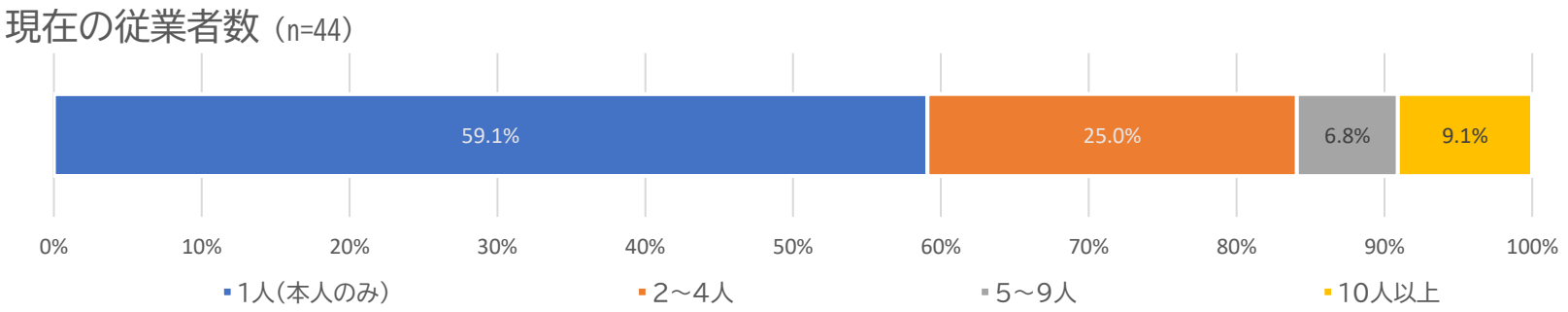


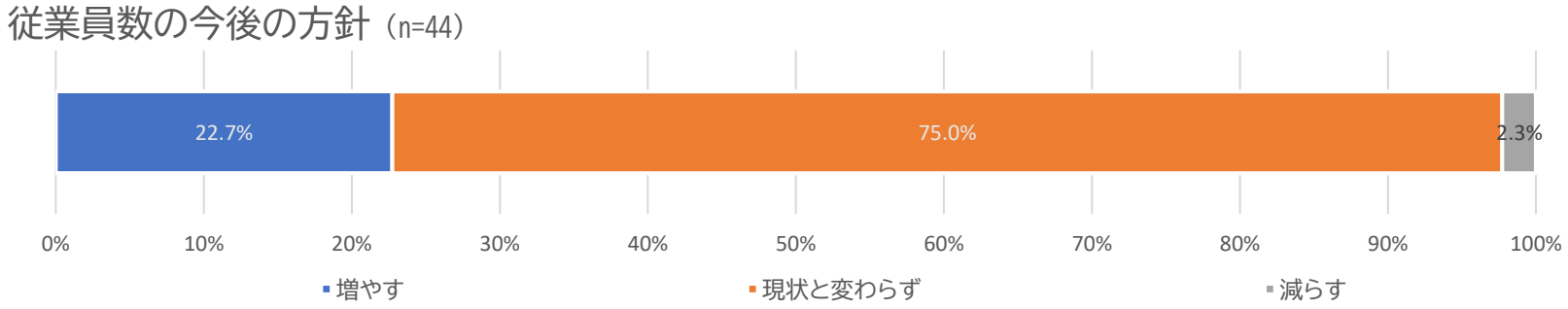


従業員について

〇現在の従業者数は1人（本人のみ）が59.1%となっており、4割以上は従業員を雇用している。

〇従業員数の今後の方針については、75.0%は現状と変わらず、22.7%が増やすと回答した。（なお、従業員数が1人（本人のみ）で「増やす」と回答した事業者は3者いた。）

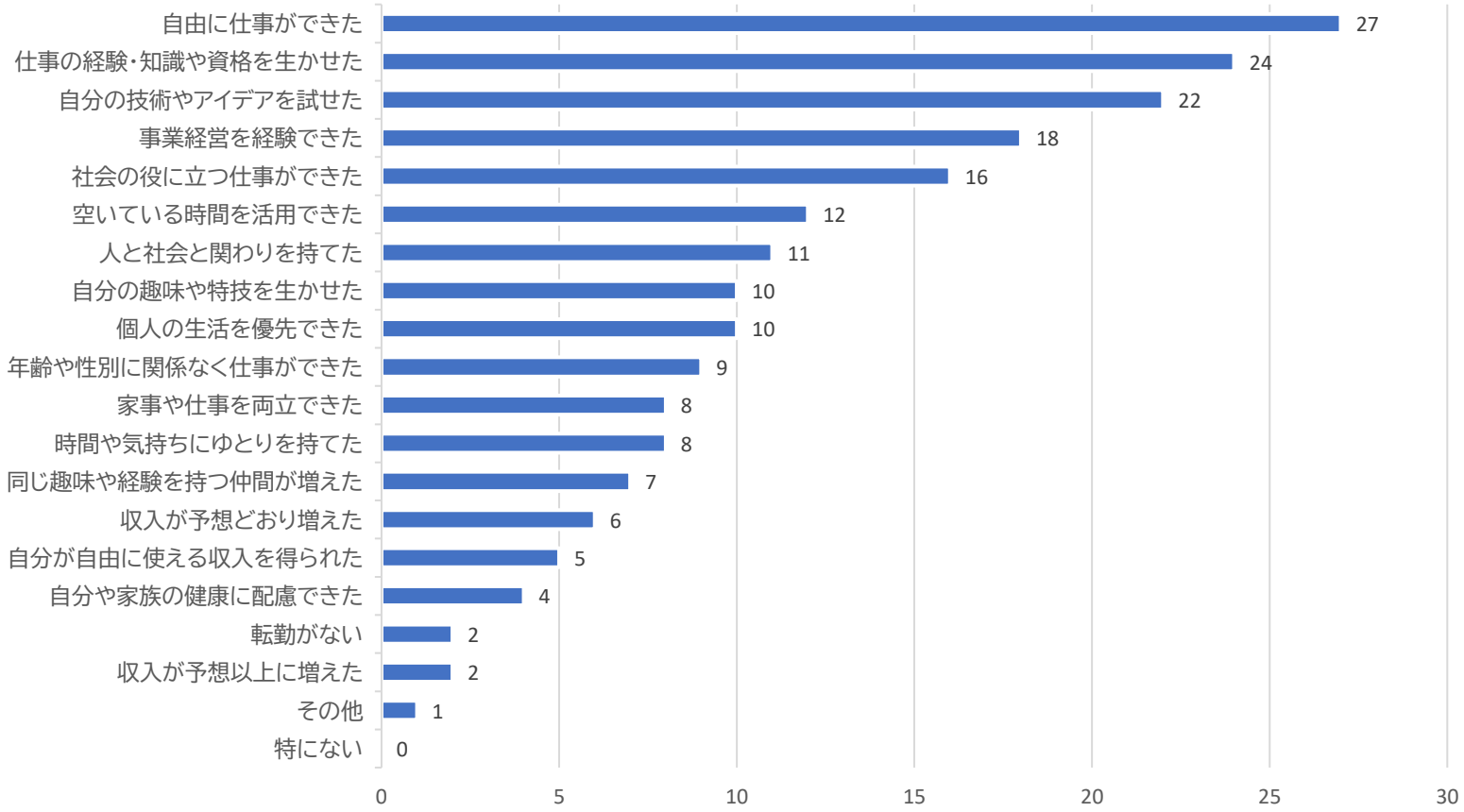




事業を始めてよかったこと

〇「自由に仕事をできた」が最も多く、次いで「仕事の経験・知識や資格を生かせた」、「自分の技術やアイデア」を試せた」といった創業前のスキル、経験を生かせたといった内容が多い結果となった

事業を始めてよかったこと（n=202）※複数選択可

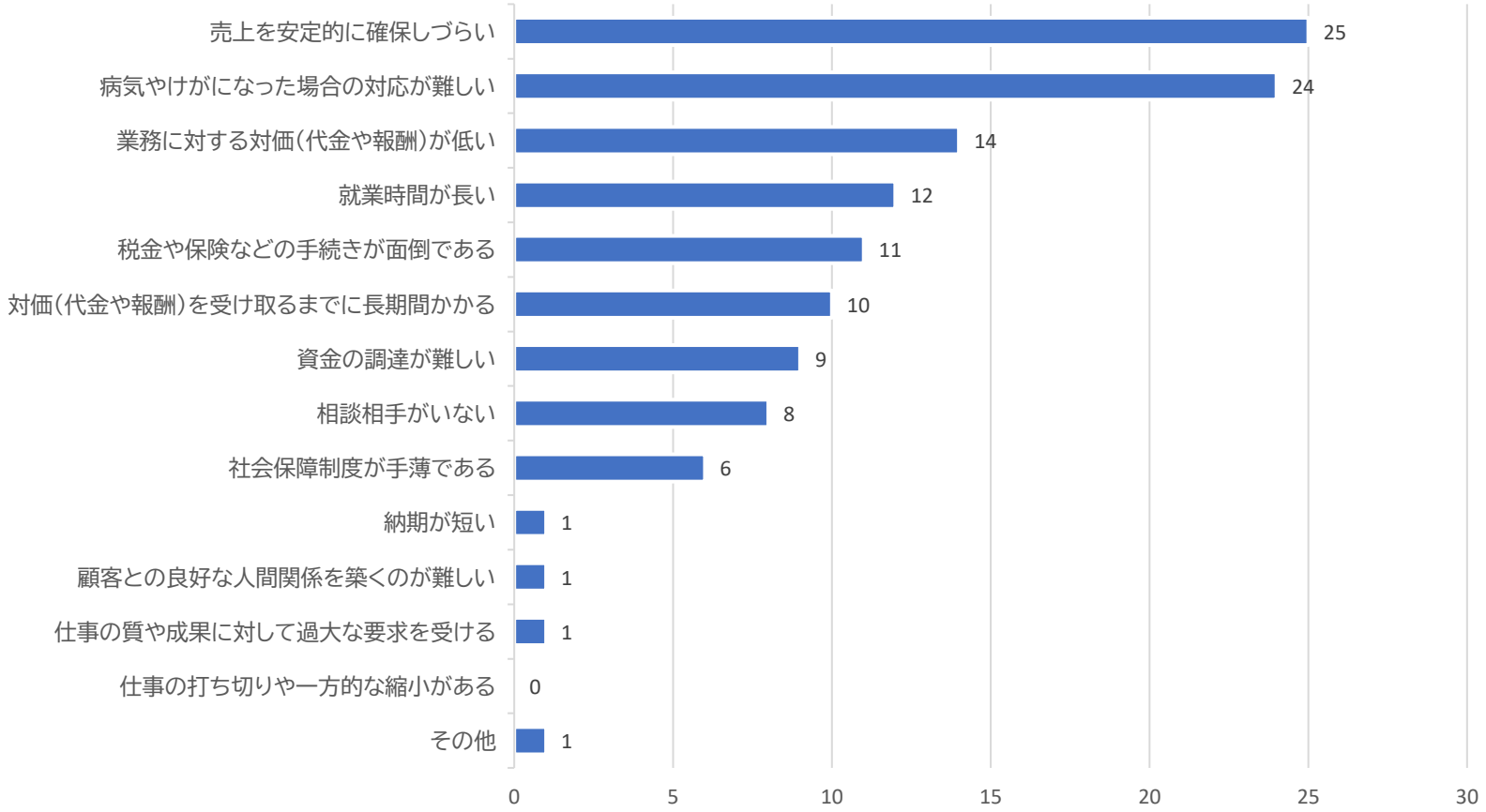


事業を行う上での課題

〇突出して多いのは、「売上を安定的に確保しづらい」、「病気やけがになった場合の対応が難しい」の2点となっている。

〇先の質問【事業を始めてよかったこと】では、「自由に仕事をできた」が最も多かった一方、「業務に対する対価（代金や報酬）が低い」、「就業時間が長い」といったある程度自身の裁量で決定する対価、就労時間上の課題も比較的高い結果となっている。

事業を行う上での課題（n=123）※複数選択可



起業・創業する際にあったらよいと思う支援策

〇「補助金制度、融資制度の実績」が最も多く、次いで「税務・法律関係の相談の充実」が多い結果となった。

〇上記資金面・ノウハウ面での支援を求める一方で、「空き店舗情報の提供」といった、事業基盤・環境といった係る情報提供も求められる支援としては高いことが確認された。

起業・創業する際にあったらよいと思う支援策（n=119）※複数選択可